



平成26年7月9日
海上保安庁

海の事故ゼロキャンペーンの実施について

7月16日（水）から31日（木）までの間、「海難ゼロへの願い」をスローガンに、全国海難防止強調運動〈海の事故ゼロキャンペーン〉を実施します。

今年度から3年間継続して

- 1 見張りの徹底及び船舶間コミュニケーションの促進
- 2 プレジャーボートの発航前点検の徹底
- 3 ライフジャケットの常時着用等自己救命策確保

を重点事項として取り組み「海の事故ゼロ」を目指します。

1 運動の趣旨

海難を防止するためには、船舶所有者、運航者をはじめとする海事関係者、漁業関係者、マリナー関係者など、船舶運航に直接関わる方はもとより、海運、漁業活動の恩恵を享受している国民の皆様にも、海難防止について関心を深めていただくことが極めて重要です。

このため、海の月間の時期に合わせて、「海難ゼロへの願い」をスローガンに官民の関係者が一体となって、海難防止思想の普及及び高揚を図ることを目的とした全国海難防止強調運動〈海の事故ゼロキャンペーン〉を実施します。

2 重点事項

(1) 見張りの徹底及び船舶間コミュニケーションの促進

【推進項目】

① 常時適切な見張りの徹底

見張り不十分による衝突を防止するため、常時適切な見張りを徹底する。

② 船舶間コミュニケーションの促進

次により、早期に船舶間のコミュニケーションを図り、相手船の動向を把握することで適切な操船を行う。

- ・ 早めに相手船にわかりやすい動作をとる
- ・ VHFや汽笛信号等を活用する
- ・ AIS情報の活用と正しい情報の入力



周知用ポスター

(2014年度ミス日本「海の日」花岡 麻里名さん)

(2) プレジャーボートの発航前点検の徹底

【推進項目】

プレジャーボートの機関故障海難は増加傾向にあります。原因は、船体機器整備不良や機関整備不良によるものが多いことから、発航前に船体・機関の点検を行うことを徹底する。

(3) ライフジャケットの常時着用等自己救命策確保

【推進項目】

海中転落した乗船者の安全を確保するために、①海上に浮く②速やかな救助要請という2点が必要不可欠であることから、プレジャーボート、漁船、遊漁船について次の自己救命策確保に関する周知の徹底を図る。

- ・ ライフジャケットの常時着用
- ・ 連絡手段の確保
- ・ 118番緊急電話番号の普及

3 活動内容

期間中、官民の関係者が一体となって、次の活動等に取り組みます。

(1) 安全に関する指導、教育、訓練等

訪船・現場指導、海難防止講習会、海上安全教室、体験航海、人命救助訓練等

(2) 広報活動

- ① テレビ、ラジオ、新聞、地方自治体の広報誌等を通じた本運動の広報
- ② 官公署、駅構内、マリーナ、漁協等国民の目につきやすい場所へのポスターの掲示
- ③ ホームページ、M I C S（沿岸域情報提供システム）、電光表示板等を利用した本運動の周知
- ④ 海の相談室（臨時に開設したものを含む）へのポスターの掲示、関連する各種パンフレット・リーフレットの備え付け、自己救命策確保関係の展示等による本運動の周知

※活動概要は、別紙「昨年度の実施状況」をご覧ください。

※平成25年度から全国海難防止強調運動のサブタイトルとして、海の事故ゼロキャンペーンを用いております。

昨年度の実施状況

■海難防止講習会



■海の安全教室



■海難防止啓発活動（協力：海上安全指導員）



■FMラジオを利用した広報活動



■訪船指導



■体験航海

